

学校評価のための令和4・5年度アンケート比較表

【見方について】

回答をそれぞれ次の値に換算し、合計の平均値としてあります。

(とても思う 4点 、 そう思う 3点 、 あまり思わない 2点 、 全く思わない 1点)

令和3年度と4年度の推移に見る保護者と児童の平均値と人数変化の割合は以下のとおりです。

- ・ 0.1ポイントで約 7人が1段階評価を変えている。 (0.1ポイント以上増加)
- ・ 0.2ポイントで約14人が1段階評価を変えている。 (0.1ポイント以上低下)

	No.	< 1助け合う子どもの育成 (豊かな心) > [体験活動の充実]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	1	小規模校の特色を生かし、家庭や地域と連携した体験活動や宿泊体験学習・校外学習の充実に努めている。	3.50	3.30	
保護者	1	学校は、子どもの体験活動(地域探検・稲作を含めた栽培体験・宿泊体験学習等・校外学習等)に努めていると思いますか。	3.60	3.41	
児童	10	学校でおこなう行事(運動会、学校公開、校外学習など)は楽しいですか。	3.89	3.92	-
【考察】		学校・保護者・児童の評価がともに向上した。コロナ禍において中止だった行事が、感染対策の下で徐々に実施できたことが評価されたものと思われる。今後、一律にコロナ禍前に戻すのではなく、より良い体験活動のあり方を検討していきたい。			
	No.	[豊かな人間関係づくりの推進]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	2	「豊かな人間関係実践プログラム」等(含むエンカウンター)を活用し、学級の児童同士、良好な人間関係が築けるように努めている。	3.17	3.17	-
保護者	2	授業では、友達の考えを聞いたり、自分の考えを発表したりし、考えを深める場が設定されていると思いますか。	3.36	3.31	-
児童	1	人の意見をしっかり聞いて自分から進んで学習に取り組んでいますか。	3.31	3.34	-
【考察】		保護者・児童ともに昨年度と同様の高評価を得ることができた。良好な人間関係を築き、維持していくための効果的な場を計画的に設定し、交流の場を多く取り入れた成果と思われる。今後も、少人数を生かした友好活動を実施していきたい。			
	No.	[道徳教育の充実]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	3	適切な資料を活用し、問題解決的・体験的な学習を心がけ、「考え・議論する道徳」への授業の質転換に努めている。	3.13	2.96	
保護者	3	お子さんは、思いやりのある優しい子どもに育っていると思いますか。	3.30	3.36	-
児童	2	困っている友達がいたら、話を聞いたり、手助けしてあげますか。	3.50	3.45	-
【考察】		児童の豊かな心を育むために、道徳的实践力の向上を目指した「考え・議論する道徳」の授業を各学年の発達段階に応じて積み重ねている。少人数であっても多様な考えに触れることで共感性を育めるような授業の工夫に取り組んでいきたい。			
	No.	< 2学び合う子どもの育成 (人生を拓く「確かな学校力」) > [指導方法の工夫改善]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	4	各教科において、児童の「主体的・対話的で深い学び」実現を目指す取組を試みるなど授業改善に努めている。(ノート指導、対話的な活動、ICTの活用etc)	3.24	3.25	-
保護者	4	先生は、お子さんの学習の理解を助けるために、分かりやすい資料の提示や一人一人への声かけを行っていると思いますか。	3.25	3.23	-
児童	3	学校の授業は、わかりやすいですか。	3.51	3.61	
【考察】		今年度は感染防止対策の改定に伴って、音楽の歌唱指導、家庭科の調理実習については通常通りに実施することができた。また、ICT活用については年々充実しつつあり、各学年で実践が積み重ねられている。今後も「分かる授業」を実践していく。			

	No.	[家庭学習の習慣の確立]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	5	家庭学習の習慣化を図る指導に努めている。	3.12	3.09	-
保護者	5	お子さんは、家庭学習（宿題を含む）に取り組んでいますか。	3.01	3.11	↘
児童	4	家庭学習に取り組んでいますか。（宿題も入ります。）	3.61	3.74	↘
【考察】		保護者・児童ともに評価が下がった。児童の大半は放課後子ども教室に通い、そこで宿題などを済ませている。そのため、保護者にとって机に向かう子どもの姿が見えにくいことが評価を下げた一因であると考え。学年に応じて、家庭でも自主的に取り組めるような内容や手立ての必要性を感じている。			

	No.	[読書活動の充実]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	6	確かな学力を支える読書活動の充実にも努めている。	3.43	3.33	↗
保護者	6	お子さんは、よく読書をしていますか。	2.52	2.46	-
児童	5	学校・家庭で、よく本を読んでいますか。	3.21	3.28	-
【考察】		学校では読書賞など、年間を通じて読書活動を推進しており、学校評価・児童評価ともに高評価が続いているが、保護者評価が2.5ポイントである。市では「家読」を推奨しており、今後も保護者の理解と協力を得ながら学校からも児童に向けてながしきの働きかけを進めていきたい。			

	No.	<3歳児合う子どもの育成（健やかな体）> [年間を通しての体力づくり]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	7	体育の授業を充実させ、体力づくりに努めている。	3.21	3.21	-
保護者	7	お子さんは、運動を好み体力づくりに励んでいますか。	2.93	2.91	-
児童	6	体育の時間には進んで運動に取り組んでいますか。	3.52	3.71	↘
【考察】		年間を通して「走る・跳ぶ」という共通の目標を立て、体育的活動の中で取り組み、技能としては昨年度より向上した。運動が苦手な児童に対しても個にあわせた方法を提案してきたが、今後も体力の維持・向上のために個に応じて楽しんで取り組める運動方法を模索していく必要を感じる。			

	No.	[学校美化の推進]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	8	児童に清掃手順や方法をきちんと指導し自らも率先垂範するように努めている。	3.21	3.35	↘
保護者	8	お子さんは、身の回りの片付けや手伝いをしていますか。	2.78	2.89	↘
児童	7	身じたくをととのえ、いっしょうけんめいに掃除をしていますか。	3.45	3.57	↘
【考察】		3者ともに評価が下がった。学校では担任とともに清掃活動に取り組み、やり方を指導している。人数が少ないため、自分の分担は責任をもって取り組む姿が随所で見られるが、さらに適切な役割をもたせ「認め励ます」ことで、児童の意欲化が図れると思われる。			

	No.	[食育指導の推進]	令和5年度	令和4年度	推移
校 学	9	給食の好き嫌いを減らすことや、望ましい食生活の指導に努めている。	3.29	3.04	▲
保 護 者	9	お子さんは、好き嫌がなく食事をしていますか。	2.89	2.91	-
童 児	8	給食は残さずに食べようとしていますか。	3.59	3.73	△
【考察】		今年度も児童対象に市学校給食センターの栄養教諭による栄養指導が年2回行われた。また、家庭教育学級においても講師として講話を聞く機会を設けるなど、栄養バランスや食事のマナーについて学校と家庭の両方から意識を向上させてきた。			
	No.	[保健指導の推進]	令和5年度	令和4年度	推移
学 校	10	歯みがきや、手洗い・うがい等の衛生習慣の指導に努めている。	3.46	3.50	-
保 護 者	10	お子さんは、歯みがきやうがい・手洗いの習慣が身に付いていると思いますか	3.05	3.19	△
児 童	9	歯みがきや、手洗い・うがいをきちんとしていますか。	3.60	3.62	-
【考察】		今年度も6月からフッ化物洗口を開始した。4年ぶりに歯科医師を講師に招いての歯磨き指導（5・6年生）を実施するなど、中止となっていた学年について来年も引き続き日程調整の上、実施していきたい。			
	No.	< 4 特別支援教育の充実 >	令和5年度	令和4年度	推移
学 校	11	特別支援教育コーディネーターを中心とし、関係機関と連携も含め、ユニバーサルデザインの支援体制の整備に努めている。	3.21	3.08	▲
保 護 者	11	学校は、一人一人の子どもに合わせた指導・支援に努めていると思いますか。	3.18	3.14	-
学 校	12	個別の指導計画に基づく、適切な指導・支援に努めている。（支援を要する児童）	3.29	3.25	-
【考察】		学校としては年度当初に保護者に対して合理的配慮の確認を行い、特別支援コーディネーターを中心に各学級の実態に応じた支援体制の工夫改善を図ってきた。今後、研修で学んだ指導方法を生かし、引き続き個に応じた指導を心がけていきたい。			
	No.	< 5 安全・安心で信頼される学校づくり > [学校の説明責任・結果責任を果たす]	令和5年度	令和4年度	推移
学 校	13	学校行事や学校公開日には、保護者や地域の方に学校の教育活動を理解してもらえるように努めている。	3.54	3.33	▲
保 護 者	12	学校は学校行事や学校公開などの教育活動に、なるべく多くの家庭や地域の方が参加しやすいように配慮していると思いますか。	3.33	3.20	▲
【考察】		昨年5月から、学校公開（7月・12月）、運動会、マラソン大会については、人数制限なしで実施することができた。地域の方々との交流が徐々に戻りつつあることが、学校と保護者の評価の増加から感じられる。地域と共にある学校づくりを目指していきたい。			
学 校	14	保護者や地域の相談や要望に対して、誠意をもって対応するように努めている。	3.54	3.54	-
保 護 者	13	学校は、保護者や地域の相談や要望に対して誠意をもって対応していますか。	3.26	3.19	-
【考察】		職員一同、保護者や地域の方々に対して、誠意をもって対応することに努めている。次年度に向け、更に地域や保護者の声に耳を傾け、工夫改善に向けて職員一丸となって努力していきたい。			

学校	15	(学校・学級・保健・その他) たよりを通して、保護者に本校の教育活動や児童の様子をわかりやすく伝えるように努めている。	3.38	3.54	↘
保護者	14	(学校・学級・保健その他) たよりや学校ホームページは、本校の教育活動やお子さんの様子をわかりやすく伝えてと思いますか。	2.84	3.23	↘
保護者	15	学校は、経営方針や教育目標をPTA総会、全体会や各だよりを通して、保護者に伝えようとしていますと思いますか	3.37	3.06	↗
【考察】	学校だより・学級通信・まちこみメール(タイムライン)・学校ホームページを通して、諸行事の様子をお伝えてきたが、14・15の評価の差は「伝えよう」という意欲は伝わっているが、「わかりやすさ」に工夫が必要であるとする。				
	No.	[安全管理及び安全な生活を実践する能力の育成]	令和5年度	令和4年度	推移
学校	16	安全点検等を有効に実施し、施設設置の安全管理を徹底している。	3.50	3.54	-
保護者	16	学校の施設がしっかり管理され、安全な状態になっていると思いますか。	3.18	3.14	-
児童	11	学校の中は、安全になっていると思いますか。	3.61	3.73	↘
【考察】	毎月の安全点検に加え、故障箇所はできるだけ迅速に修繕に取り組んできた。施設の老朽化に伴った不便な箇所については、まずは安全を最優先に確保できるようにしていきたい。				
学校	17	「自分の命は自分で守る」意識の定着「危険を回避する能力」の育成に努めている。	3.29	3.33	-
保護者	17	学校は、避難訓練や交通安全教室、安全パトロール等を通して、非常災害対策・不審者対応・登下校の交通安全指導に力を入れ、事故防止に努めていると思いますか。	3.02	3.20	↘
児童	12	交通安全に気をつけて、登下校していますか。	3.22	3.77	↘
【考察】	今年度も保護者や職員の協力で、朝の交通安全指導を行い、事故なく過ごせたが、登下校は車で送迎される児童が多いため、評価としては下がっている。警察や赤十字などの関係機関とも連携し、交通安全や水の事故などを回避する教室を開催し、安全意識を高めてきた。今後も児童の安全確保に努めていきたい。				
	No.	<生徒指導>	令和5年度	令和4年度	推移
学校	18	児童一人一人に自己存在感をもたせたり、自己決定の場を設けたりするなど、生徒指導の機能を生かした授業の展開に努めている。	3.46	3.33	↗
保護者	18	学校、学級の環境は、一人一人が認められ、学ぶ場にふさわしい学習環境になっていますか。	3.31	3.26	-
児童	13	授業が楽しく、自分の活躍する場がありますか。	3.44	3.47	-
【考察】	安全を確保しながら日常を取り戻す中で、共感的な理解や、児童の自己決定の場を大切にするなど、生徒指導の機能を生かした「楽しい授業」を目指している。三者評価を高評価で維持できるよう、今後も積極的に取り組んでいきたい。				
学校	19	いじめや問題行動の予防や早期発見に努め、組織的に取り組んでいる。	3.33	3.38	-
保護者	19	お子さんの友達関係はうまくいっていると思いますか。	3.27	3.32	-
児童	14	友達と仲良くできていますか。	3.72	3.76	-
【考察】	昨年度に引き続き、三者とも肯定的な評価として高い水準を得られた。教育相談的な担任の関わりに加え、養護教諭や特別支援体制、スクールカウンセラーなど、幅広く多角的に関わる組織体制が機能し、早期対応できていることも高評価の要因と考えられる。				

保護者	20	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。	3.48	3.23	➡
児童	15	学校へ来るのは楽しいですか。	3.62	3.68	-
【考察】	感染予防対策を含め安全対策を随時更新しながら、グループ活動や体験活動を通して、学校で楽しく友達と学び合い、思い切り声を出して運動場で遊び回れる日常を取り戻せた1年であった。この期待に答えるため、さらに「楽しい学校」を目指していきたい。				
学校	20	児童の規範意識の向上や基本的な生活習慣の指導に努めている。	3.21	3.25	-
保護者	21	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いていると思いますか。	3.02	2.94	-
児童	16	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身につけていると思いますか。	3.22	3.20	-
【考察】	継続して「豊和小スタンダード」という具体的な児童像を学校・保護者・児童と共通認識のもと進めてきた成果として、保護者・児童の評価が向上傾向にある。評価としては以前厳しいが、生活習慣を改善しようという意欲的な回答ともとれる。保護者の理解と協力が得られるよう懇談会などで求めている。				
学校	21	児童に、誰に対しても明るい返事やあいさつをするよう指導している。	3.29	3.38	-
保護者	22	お子さんは、友達や先生、家族、地区の人に対して明るい挨拶や返事ができていると思いますか。	3.05	3.02	-
児童	17	友だちや先生、家族、地区の人に対して、明るい返事やあいさつができていると思いますか。	3.48	3.42	-
【考察】	学校生活において、来客へのあいさつがよくできる一方で、朝の登校時に「自分から」「明るく元気に」あいさつができるようになってほしいという声が保護者から寄せられている。コロナ禍も明け、大きな声が出せる環境になった今、児童会のあいさつ運動をきっかけに、より一層あいさつの輪を広げられるよう呼びかけていきたい。				
	No.	<教育相談>	令和5年度	令和4年度	推移
学校	22	児童理解を深め、カウンセリングマインドで児童に接するように努めている。	3.46	3.33	➡
保護者	23	先生は、お子さんのことをよく理解してくれていると思いますか。	3.26	3.18	-
児童	18	先生は、よく話を聞いてくれますか。	3.64	3.77	↩
【考察】	一人一人との教育相談の機会（年間2回）に加え、今年度は、SC（スクールカウンセラー）が月1回定期的に在勤するようになった。こうしたことを保護者にアピールしつつ、児童の心に寄り添える関わりを今後も大切にしていきたい。				
学校	23	児童や保護者の相談に、親身になって応じるように努めている。	3.54	3.54	-
保護者	24	先生は、お子さんの相談に、親身になって応じてくれていると思いますか。	3.26	3.14	➡
児童	19	困ったことや悩みを、先生に相談しやすいですか。	3.44	3.45	-
【考察】	特に保護者の評価の向上した。その理由として、児童や保護者からの相談を担当だけで抱えるのではなく、専門性をもったSCの存在を知らせ、積極的につなげてきたことによるものと思われる。引き続き、児童や保護者が一人で悩みを抱えてしまうことのないよう、組織的な体制維持に努め、早期対応を心がけ、安全で安心な学校作りに努めたい。				